

全日中事務局だより

令和六年度文科省概算要求のウリは
令和五年九月、文部科学省の次年度
概算要求に係わる説明会が教育関係団
体に対して行われた。

▼本説明会では初等中等教育関係の概
算要求についての説明があった。関係
資料については全日中HPの会員ペー
ジ「中学校教育の動向」のバナーを開
いて御確認いただきたい。

▼今回、特に次年度新規事項として予
算要求した項目の中からその一部を紹
介する。

▼その一、「副校長・教頭マネジメン
ト支援員事業」副校長・教頭の厳しい
勤務実態を踏まえ、業務を専門的に支
援する人材の配置を支援することとし
ている。

▼想定される人材は、退職教員、教育委
員会勤務経験者、民間企業等での事務経
験者等とし、補助割合は国が $\frac{1}{3}$ 。全

国で二、三、五〇人を想定している。

▼その二、「行政による学校問題解決
のための支援体制の構築に向けたモデ
ル事業」保護者や地域からの過剰な苦
情や不当な要求など、学校だけでは解
決が難しい事案について学校運営上の
大きな課題となっていることから、学
校管理職OB等の活用も含め、様々な
専門家と連携した行政による支援が急
務だ。

▼事業内容としては、市区町村教育委
員会や都道府県教育委員会等に学校問
題解決支援コーディネーター（仮称）を
配置し、学校や保護者から直接相談を
受けるとともに、申し立てに応じて、
両者から事情を聴取し、事案ごとに解
決策を整理・提示する。また、専門家
を学校に派遣し助言を行う事としている。
▼事業規模は市区町村の場合、四七団
体に各四〇〇万円（単年）、都道府県
の場合は十団体に各五〇〇万円（単年）。
▼その三、「一人一台端末の更新事業」

令和二～三年度に集中的に整備された
端末について、故障端末の増加やバッ
テリーの耐用年数が迫るなど、早い自
治体では令和六年度中に更新を実施す
るケースが想定され、今後三～四年程
度をかけて端末を計画的に更新する必
要が出てくる。

▼補助対象は、児童生徒全体の $\frac{2}{3}$
台分とし、補助上限は一台につき、
四五、〇〇円とする。国全体の要望
額は当面、令和六年度の更新等に要す
る経費として一四八億円を要求した。

なお、この事業については、六月十
六日に閣議決定された「骨太の方針
2023」には「一人一台端末について、
公教育の必須ツールとして、更新を着
実に進める。」と明記されている。

「えちぜん鉄道」のアテンドに学ぶ
▼八月三日・四日、第五十五回全国公
立小中学校事務研究大会が福井市で開
催された。齊藤会長の代理としてその
大会に私が出席させていただいた。

開会式では福井県中学校長会の合川修一会長にもお目にかかる事ができた。

▼当日、時間の関係で乗車できなかったがJR福井駅からは第三セクター「えちぜん鉄道」という路線が接続している。三国芦原線と勝山永平寺線の二本の路線があり、全長五三kmのローカル線だ。

▼「えちぜん鉄道」はかつて、私鉄として営業していたが、二〇〇〇年十二月と二〇〇一年六月にわずか半年間で二度にわたる電車同士の正面衝突事故を起こしてしまった。

▼この事態を重く見た国土交通省中部運輸局は、この鉄道会社に対して全線の運行停止を命じた。全線運行停止命令の上、事業改善命令が鉄道会社に出された事例は、二〇二三年現在でもこれが唯一である。その結果、事業継続が困難になり、廃線の危機を迎えた。

▼しかし、沿線の住民や自治体からは住民の大切な交通手段として存続を望

む声が大きくなり、沿線の福井市、勝山市、坂井市などが出資して二〇〇三年二月、第三セクター方式として発足したのが「えちぜん鉄道」である。

▼その後、廃線の危機から出発した「えちぜん鉄道」は、なんと、コロナ前には毎年のように乗降客が増え、日本の鉄道業界の注目を集めていた。

▼その理由はなぜか、多くの要因があるが、最も有名なものの一つに「アテンドント（接客乗務員）」の乗務が挙げられる。そのアテンドントの一人が「ローカル線ガールズ」（メディアアファクトリー二〇〇八年）の著作の中で、「気配り」について次のようなことが書かれてあった。

▼「お客様が財布を出そうとしておられる」↓

「切符や車内販売のグッズを所望さ
れている」

▼「腕時計を見ておられる」↓
「乗り継ぎ時間を気にされている」

▼「ポケットを探っておられる」↓

「九十%の確率で切符をなくされた」
乗客の仕草を察知し、次のサービスの提供を準備するということが紹介されていた。

▼さすが、プロはすごいなと感心しながら、ふと、生徒を相手にしている学校現場を思い出してしまった。日常の教育活動の中で、生徒たちがどのような情報を発信しているのか、ちよつと気にかけてみたいものだ。

▼蛇足だが、「えちぜん鉄道」のアテンドントの皆さんは、駅名の由来、車窓から見られる山や花の名前、沿線の祭り、沿線の病院名と最寄り駅、沿線の学校名は全て答えられるそうだ。

会員レポート

長野県飯綱町立飯綱中学校

岩松裕一様 五十三歳 十月一日

謹んでお悔やみ申し上げます、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局員 富士道正尋)